

生活創造しんぶん Wa'Wa'Wa'

編集・発行

姫路生活科学センター内 生活創造応援隊

「心を勉強するぞー!!」

北 郁子 作



「版の会」では姫路城周辺の景色を版画に残していますが、平成18年11月22日に開催された「姫路生活創造フェスタ」の会場で展示するにあたり、隣接する兵庫県立大学の歴史の重みを感じさせる建物を素材に制作しました。

「岩田 健三郎 選」

姫路生活創造フェスタ バンザーイ!



「もったいない倶楽部ファッションショー」

姫路生活科学センターの各種事業などを通じて、生活創造活動に取り組んでいるグループが一同に会し、日頃の学習実践の成果等を発表することで、地域と団体が相互に支え合い、高め合うネットワークの構築を計るイベント「姫路生活創造フェスタ」を開催しました。

テーマは「**楽しもう! 地域の活動!**」

ここに姫路生活創造フェスタ実行委員会の感想と、多くの皆様のご協力とご参加で初めてのイベントが大成功に終わりましたことをご報告し、感謝の気持ちをお伝えしたいと思います。ほんとうにありがとうございました。

姫路生活創造フェスタ実行委員会 一同



私たち「もったいない倶楽部」は、皆様にもったいない精神を少しでも分かってもらおうと、着物を再利用し、洋服に仕立てあげた素晴らしい作品のファッションショーを行いました。このような素敵な機会と、場所を提供頂いた生活科学センターの皆様にも感謝いたします。メンバーは、次回のフェスタに向かって新しい夢、そして新たな希望が湧いてきています。

堀越 真弓・堀次 睦



「版の会」会員の作品展示

姫路生活科学センターに於ける「再利用から、生活の知恵を集めた祭典」が開催され、メイン会場での「ファッションショー」を中心に、「布絵本」の展示、折り紙コーナー、「エコの会」の環境実験、「紙漉き」のコーナー、「版の会」の作品展。屋外での「コーヒーコーナー」でのトレイに乗せたほんの一言書きは、来場者の方々への「やすらぎと癒しの心」を提供し、どの会場もそれぞれの「コミュニティー」の特徴と活動への姿勢が如実に、細かく表現された催しでした。お祝いに野外の銀杏の木を金色に染めてくれた陽射しに感謝します。

遠入 宏昭



「調理室での食事風景」

このたび初めてのフェスタは大変賑やかに大盛況に終わりお疲れ様でした。各部署は、大変なご苦労だったと思います。私は食事部門でしたが、一人では出来ないことも、多勢でやれば出来ることがあると実感しました。来年に向けてよき材料にしていきたいと思います。

安達 加世子

地産地消の安全な食材を使った食事のお手伝いをさせていただきました。福崎特産のもち麦粉を使ったみたらし団子、地元でとれたこんにゃく芋でのこんにゃく、じゃがいも、大根、玉子、厚揚げ、ちくわの姫路おでん、地元のおいしいお米、野菜を使った混ぜご飯・・・来てくださった皆さんが「おいしい、おいしい」と喜んで食べていただき、うれしくなりました。

松尾 秋子



「姫路生活創造フェスタ」を開催の声が出てから、わずか3ヶ月後、お天気に恵まれ多くの来場者を迎えられた事は大きいと感じます。素人ではありますが人生経験豊かな人々の集まりです。得意分野、興味ある事への関心は大でこれまで蓄えた力と知恵を出し合いました。「みんなでひとつの花を咲かせた喜び」を感じています。参加できた事に感謝し、心寄せて下さった方々に感謝し喜びを分かち第2回に向けての歩みを始めたいと思います。

ありがとうございました。小國 冷子

秋の好天気に恵まれ、心配していた入場者も多数お越しくださり驚きました。

料理は地産地消にこだわった、姫路おでん、まぜご飯、もち麦みたらし団子を、用意させていただきました。おかげさまで、すべて完売、残飯なし、そして使った容器は、洗ってリサイクルに、又ゴミは2袋余りと、初めてにしてはよく出来たと思っております。御協力くださった多くの皆様ありがとうございました。

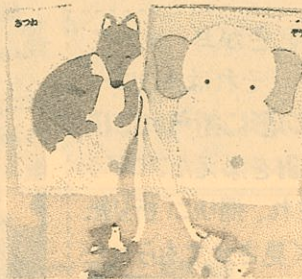
大江 督子



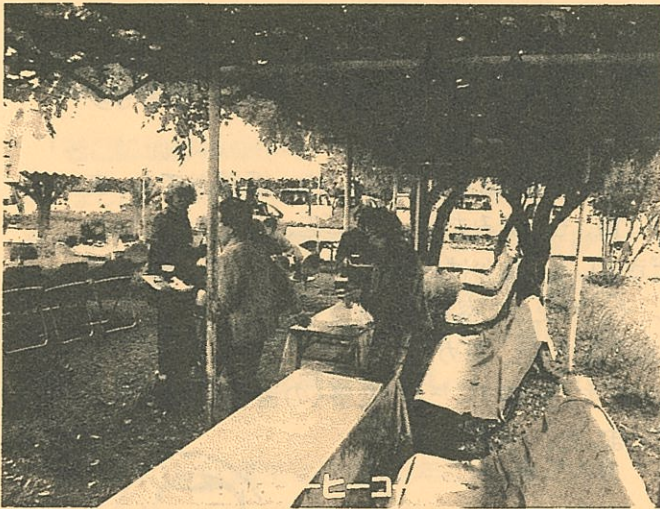
お天気に恵まれ、初めて開催されたフェスタに参加できて、楽しい思い出がひとつ増えたことに感謝しております。私は姫路おでんの担当でしたが、なに一つ残らず、皆様から温かく好意的に「すごく美味しかったよ。」という言葉をかけていただき、嬉しくてほっとしました。

良い体験が出来たと感謝しています。

大野 律子



「捨てないでもう一度使いましょう 会場」



「ちらりはらりと落ち葉」

黄金色一色に化粧したいちょうの木」

フェスタで私たちはオープンカフェを開催しました。そのスペースは樹木に囲まれ、少しセンターの歴史を感じさせていました。普段は使われることのない、ゆったりとした藤棚の下、長椅子も一枚の布に包まれてすまし顔、皆さんの心地よい場所に変身しました。コーヒーは山深い場所からの名水で心いっぱい注ぎました。

古紙を利用したハガキ作りも、用意した材料がなくなるほど多くの参加があり、イチヨウや紅葉の落ち葉を加えて作成して下さった世界で一枚のハガキもみんなの心に残ったステキな一日だったと思います。

参加して下さった皆さんと出会えた事に万歳です。

遠岡 加壽恵

開会式直後、清しいフルートの音色が耳に入ってくると、準備のあわただしさも忘れ、それはまさに一服の清涼剤でした。受付で洋服の形に折られた爪楊枝入れと和紙を貼った紙はさみを添えたプログラムをお渡しすると、一様に感激され、帰りに「折り紙も脳の活性化のために興味深く見させてもらったし、紙すき体験、環境実験、火災警報器の展示等は意義のあるものでした。」との感想もいただきました。身近に人々との交流が出来たことは記憶に残る良い経験となりました。

松満 道子

受付で心のこもった手作りの紙クリップと、色紙で折られた爪楊枝入れをもらって感激し、心があたたかくなりました。これは大切に思い出の品として宝物に加えることにしました。もちろん、プログラムと共に。次に感激したのは、おふくろの味の混ぜご飯の、バック詰めを手伝い、他の実行委員の方たちと語り、ふれ合うことがとても勉強になり、貴重な体験をしたことです。もちむぎみたらし団子の絶妙な味に嬉しくなり、姫路おでんの味が心にしみわたりました。もったいない倶楽部のファッションショーの創意工夫にも、驚きと感動のつぼでした。

ダンスで眠っていた着物が洋服になり、帽子になり、バックに変身です。袴からのリフォーム作品もあり、グッドアイデアに感激しました。素晴らしい生活創造フェスタ / ありがとうございます /

岸口 多津代

コーヒーショップにクリエイター夢咲のメンバーと共に参加し、テント張りからはじめ会場のセッティングもいろいろと工夫を凝らし、評判も上々で、楽しい1日になりました。次回も素晴らしいフェスタにしたいと思いました。 布田 清美



いつも落ち着いた静かなセンターが軽快な音楽と多勢の人々のざわめきで活気がみなぎり、終日笑い声やはずんだ声が溢れたフェスタでした。

センターの前を走るバスの中から窓越しに野菜と多勢の人が見えたので何だろうと、わざわざ『最寄りのバス停で降りてきました。』と来られた方がありました。これには驚きましたが、プログラムの内容を見られて「楽しむよ」と一言。又、「姫路生活科学センターは何をする場所なのか よく分からなかったけれど消費者のための大切な場所だったのね!」とも言われました。

敷地内の色づいた大きなイチヨウの木を眺めながらのコーヒータイムも良い時間でした。いろいろな方との出会いもあり、フェスタ実行委員全員が頑張った1日だったと思います。

小林 美波子



あなたの危機意識は？

11月22日に開催されたフェスタで登録グループ「ひめじエコの会」が家電製品の待機電力測定や二酸化炭素(CO₂)による温度上昇実験とあわせて地球温暖化問題についてのアンケート「あなたの危機意識は？」を行いましたので、その結果について紹介します。

短い時間ではありましたが60名の回答が集まり、「温暖化問題については講演・テレビなどの情報で一応は理解していると思う」との回答が56名、「温暖化が原因と思われる影響であなたが心配していること」(複数項目回答)では、①洪水39名 ②台風の巨大化・海水面の上昇各36名 ③食料不足35名 ④干ばつ31名 ⑤感染症の拡大26名 ⑥熱波23名となっています。

「温暖化を防ぐ手立ての時期について」の設問では「危険が見えてからでも遅くない」1名「分からない」3名のほか、52名が「危険が見えてからではもう手遅れ」との回答がありました。

また、「家庭からの二酸化炭素(CO₂)排出量の増加が極めて多くなっており、一部では、家庭が鍵を握っていると言われていることについて実感としてあなたは思うか」では「思う」が45名、「わからない」7名、「思わない」が4名でありました。

以上、概要のとおり、フェスタ来場者の殆どの方が温暖化問題を理解し、危機意識を持っていることが分かりましたが、皆さんは如何思われますか？

近年の研究によると、地球の平均気温の上昇が2℃(すでに過去100年で0.6℃上昇)に達したとき「危険な気候変動が発生する」と言われています。また、国立環境研究所の試算では、気温上昇を2℃に抑えるため、CO₂濃度は475ppm以下(現在約370ppm)、その排出量を2020年に10%、2050年に50%、2100年には70%と大幅な削減が必要とされています。

現在、京都議定書により、わが国は6%の削減義務が課されていますが、このようにさらなる大幅なCO₂排出量削減が必要となり、今後、私たちには「省エネ行動」や化石燃料を使わない太陽光やバイオマスなどの「自然エネルギー利用の普及」が求められています。

(応援隊 溝口 章宏)



総務省からのお知らせ

電気通信サービスモニター募集

- 総務省は電気通信サービスに対する意見を聞く「電気通信サービスモニター」を募集。
- 満20歳以上で近畿2府4県に在住の方、募集人員は130人。年2回のアンケートへの回答や、モニター会議(年1回・依頼者のみ)への出席が主な活動。回答・出席者には謝金。
 - ※ 委嘱期間は平成19年4月1日から平成20年3月31日まで。
 - ※ 募集期間は平成19年1月15日(月)から同年2月19日(月)まで。
- 希望者はハガキの裏面に郵便番号、住所、氏名(フリガナ)、電話番号、年齢、性別、職業、応募動機を記入し、表面に「モニター希望」と書いて、

〒100-8302 東京都千代田区千代田1-1-1

近畿総合通信局情報通信部電気通信事業課 まで郵送ください。(当日消印有効)

- ホームページ() からも応募可。

お問合わせは電気通信事業課() 平日のみへ。

福崎町山の会協会～山を楽しむ仲間と共に歴史を綴っています！～

「そこに山があるから…」と名言を残した登山家がいきました。福崎町山の会協会の現会長の内藤正登さんは「山という素晴らしい大自然があるから登りたくなる、しんどい事もあるが心身の修行ともなる」「自然の中で仲間と助け合い、汗を流して山頂に立った時の感激を味わってほしい」と話されました。

会の歴史は永く誕生は昭和36年8月、地元の県立福崎高校の先生、生徒、OB などのわずか16名での出発でしたが現在会員は165名にもなります。家族会員が多いのも会の特長だそうです。年会費は家族で500円、入会金は1000円です。

平成19年には47周年、登山回数は200回を超えているそうです。この歴史を続けられたのには幹事、役員16名の作業分担がしっかりしているからとされます。毎年4月の総会で年間計画を立て、登山の度毎にリーダーはAが、中間はBが、ストレッチはCが担当と分担を決めて実行されます。不慣れな山は幹事数名で下見登山もされます。永年、籍を置く会員の足の状態などは把握できていますが新入会員には紹介者の会員が責任をもってトレーニングの機会をつくり、全員で事故のないようにと励んでいます。お互いが万全の体調で参加しないと、時には他グループの登山者に迷惑を掛ける結果にもなります。その為に日頃のウォーキングにも励んで、ひざ関節、筋のトレーニング、寝不足などにも気をつけています。楽しく登山ができるには皆さんの心がけも大切だそうです。

多人数なのでレベルの差をどうクリアするかも課題です。初心者に合わせると充分楽しめないグループもあり、最近は班編成を取り入れたり、登山案内状の注意書きに上級クラス等と示したりして呼びかけているそうです。

内藤さんは第4代目の会長となりますが歴代の会長、幹事、役員の努力は大きな支えとなります。現在、柳田國男記念館・館長の伊藤さんの働きも記すべき事で感謝されています。

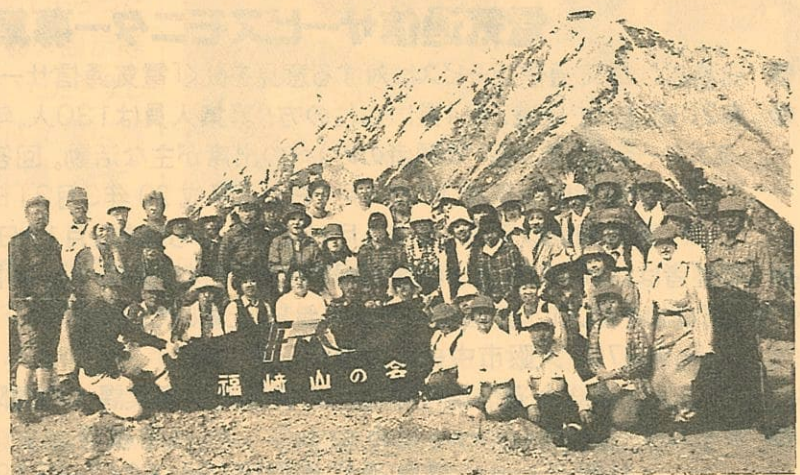
このように会を継続するには多くの方の力を頂いているとおっしゃいます。「思い出も活動を支えてくれる、大自然に抱かれて根強く育った大木、ガラの岩道、小鳥の鳴き声、谷間の雪渓、高山植物、山頂のご来光に感動した事、アルプス連山の壮大な眺めなど山の魅力は尽きない」とも言われました。地区区長の仕事の他に環境問題ではEM菌の普及にも力を入れ多忙を極める日々と思われそうですがお元気で励まれているのは山からのエネルギーでしょうか。「四季折々の登山を体験する事で体力維持ともなり、その上登山仲間という掛け替えの無い友も得ます。さらにその事で心も癒され、小さな事ではくよくよしなくなった」と言われました。

いかがでしょうか。こんなにいい事いっぱい登山活動！参加なさいませんか。自分のレベルで楽しんでいただきたいですね。

会員は福崎町内が6割、姫路、加西、市川町で4割です。概ね順調な運営なのですが悩みは会員の高齢化だそうです。経験豊かな会員も身体的に登山が辛くなったというのです。歴史ある会には避けられない事ではありますが若い層の入会をお待ちしています。

お問い合わせは 福崎町体育協会

福崎町体育館内へ

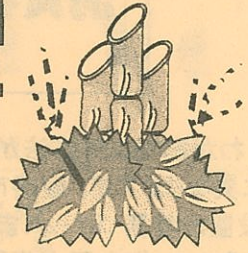


(応援隊 小國 冷子)

新春のふるさと料理

『播磨ふるさとの料理』認証者の田中 繁子さんにお聞きして、姫路特産のれんこんなどを使った、年末年始に食べ過ぎたお腹に優しいお料理をご紹介します。

《地産地消の食材を活かす会》



★ れんこんまんじゅうの味噌クリーム煮

《材料4人分》

れんこん	200g
そうめん	1/2束
生牡蠣	大4個
カブまたは大根	適量
人参	少量
牛乳	500cc
白味噌	120g
パセリ(みじん切り)	少量
こしょう	少々

《作り方》

- ① れんこんは皮をむき、すりおろし、そうめんは細かく折って入れ、水気を吸わせる。
- ② 生牡蠣は洗い、さっと湯引きをして、水気をきる。
- ③ カブまたは大根、人参は皮をむき、5mm厚さに切って、下ゆでする。
- ④ 牛乳と白味噌を、よく合わせて中火にかけ、①で②を包んで落とし入れる。
- ⑤ ③も加えて、ひと煮立ちし、味をととのえ、パセリとこしょうをふる。

味覚の展示場

はりま
新年新作
こころ

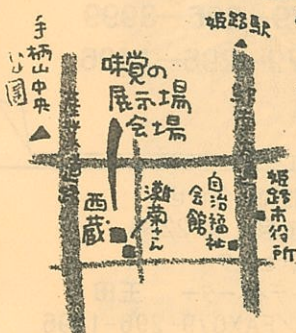
姫路市 2007年1月20日(土)・21日(日) 午前10時～午後5時
姫路市 漢菜さんの西蔵で開催

地の人による
地産地消の
食の集まり

地元で家業として「食」に関わっている者たちの集まり

食・地の座

『地の人による地の食をつくる・食・地の座』の『味覚の展示場』はステキなイベントだと思います。地元で家業として「食」に関わって、がんばっている方たちの集まりに行ってみませんか？
(地産地消の食材を活かす会)



地の人による
地産地消の
食の集まり
の者たちが手合ひで考
えていく……これまで作
ってきた食とこころ
の展示場としての新
作の発表です

消費者セミナー「住まいの防災対策・火災警報器 一選び方・つけ方・使い方」学習会

わが国では消防法が改正され、新築住宅については平成18年6月から、既存住宅については、市町ごとに異なりますが、姫路市や神崎郡市町では平成23年5月末まで戸建住宅・店舗併用住宅・共同住宅ともに設置が義務づけられました。

そこで、住宅用火災警報器にはどんな種類があるのか。取り付け場所は決められているのか。誰でも取り付けられるのか。どこで買えるのか。点検は必要かなどについて学習します。

日時 平成19年1月16日(火)13:00~15:00

場所 兵庫県 姫路生活科学センター

テーマ 住まいの防災対策・火災警報器一選び方・つけ方・使い方

内容 ア) 火災警報器設置の義務化について 姫路市消防局
イ) 火災警報器の商品の種類と特徴、使い方 松下電工(株)、ホーチキ(株)
大阪ガス(株)
ウ) 火災警報器の調査結果 二水会(消費者グループ)
エ) 火災警報器の商品テスト結果 兵庫県立生活科学研究所
オ) 質疑応答

募集対象 消費者 約50人

参加申込み先 兵庫県 姫路生活科学センターまで住所・氏名・電話番号を明記の上、お申込み下さい。

ひょうごボランティアスクエア

平成19年1月28日(日) 10:00~17:40

イーグレひめじ1階・3階・4階 (JR・山陽姫路駅 北に徒歩15分)

● ボランティア・市民活動元気アップアワード

ボランティアグループ・市民活動団体の活動発表をします
皆さんの投票で、各グループへの賞金が決まります。

● ひょうごボランティア・市民活動フォーラム

“「コミュニティの再生」はみんなの力で”をテーマに
講演とグループ討議を行います。

● ふれあいマーケット

小規模共同作業所などが、心をこめて制作している
製品を販売します

● 地域活動パネル展【平成19年1月20日(土)~2月1日(木)】

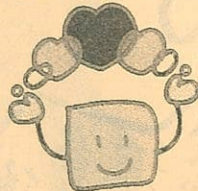
兵庫県内で行われている多彩な地域活動を展示します。

主催：ひょうごボランティア・スクエア21実行委員会

後援：(社福)姫路市社会福祉協議会

お問い合わせ先

ひょうごボランティアプラザ



中播磨省資源運動推進大会開催

日時 平成19年2月9日(金)

13:00~15:30

場所 大阪ガス(株) デイリパ姫路
(旧ふれあいプラザ)Uホール

内容 ◇ 省資源・省エネルギー
ポスターコンクール地域表彰式
◇ 講演会

展示 省資源・省エネルギーポスターコンクール
中央入賞作品及び

中播磨地域入賞作品

主催 中播磨消費者団体連絡協議会、
兵庫県中播磨県民局

後援 大阪ガス(株)

お申込・お問合せ先

兵庫県姫路生活科学センター

しんぶんについてのお便り・お問い合わせ

姫路市新在家本町1丁目1番22号

兵庫県姫路生活科学センター

生活創造活動コーディネーター 玉田

あけましておめでとうございます。

今年も楽しいこと、美味しいことの
情報収集や発信をしていきたいと
思います。よろしく願ひ致します。

生活創造応援隊 一同

